

令和7年3月11日(火)

令和6年度 校内研究報告会



栃木県立富屋特別支援学校



本日の内容とゴール

- ①今年度の所属学部の研究成果と課題を確認し、次年度への見通しをもつ。
- ②今年度の他学部の研究について知り、全職員で情報を共有する。

I 教育課程研究の目的



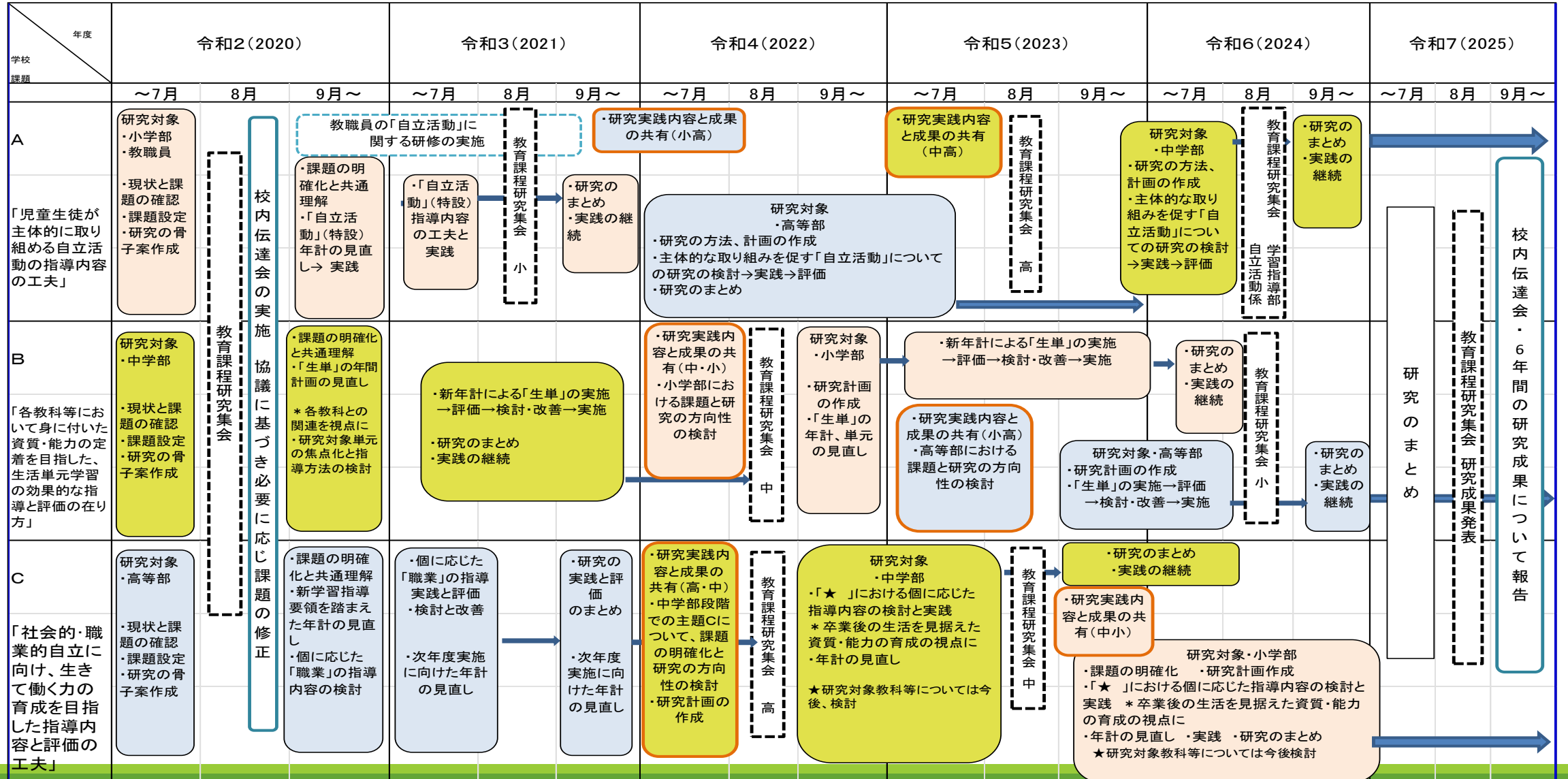
- ①新学習指導要領の趣旨及び栃木県教育振興基本計画の基本理念に則り、**生きる力を育む教育を推進するため**、研究主題に基づき、教育課程上の課題や成果について協議することにより、**教育課程の改善・充実に資する**。
- ②**児童生徒の自信と意欲を育てる指導の充実**を目指し、研究主題に基づいた授業計画、実践、評価、改善に組織的に取り組む。

2 研究主題



A 中学部	自立活動の指導における子どもの <u>主体的な取り組みを促す</u> 効果的な指導と評価の在り方
B 高等部	各教科等を合わせた指導における、各教科の基礎的な知識・技能を確実に習得させるための <u>個に応じた</u> 効果的な指導と評価の在り方
C 小学部	社会的・職業的自立に向けて必要となる資質・能力を着実に育成するための <u>個に応じた</u> 効果的な指導と評価の在り方

3 研究計画



今年度の研究報告

【研究主題 A】 中学部

学校課題

「児童生徒が主体的に取り組める
自立活動の指導の工夫」

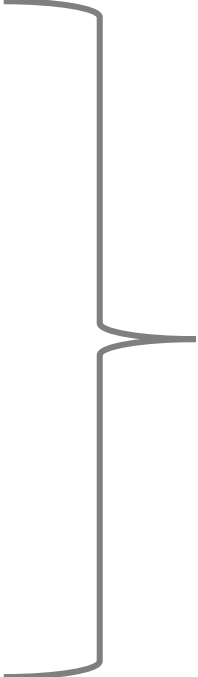
(1) 研究の主な内容

① 自立活動に関するアンケート

② 自立活動についての研修

③ 目標一覧表の作成・改善

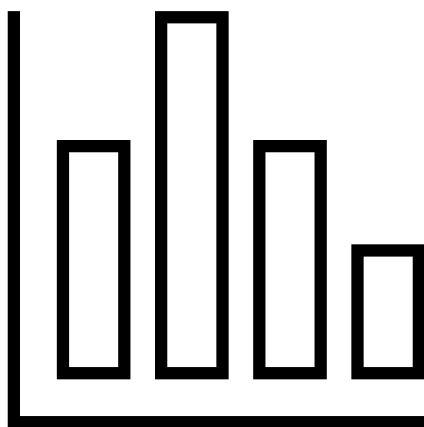
④ 指導の実践



R6年度

(2) 今年度の取組

① 自立活動に関するアンケート



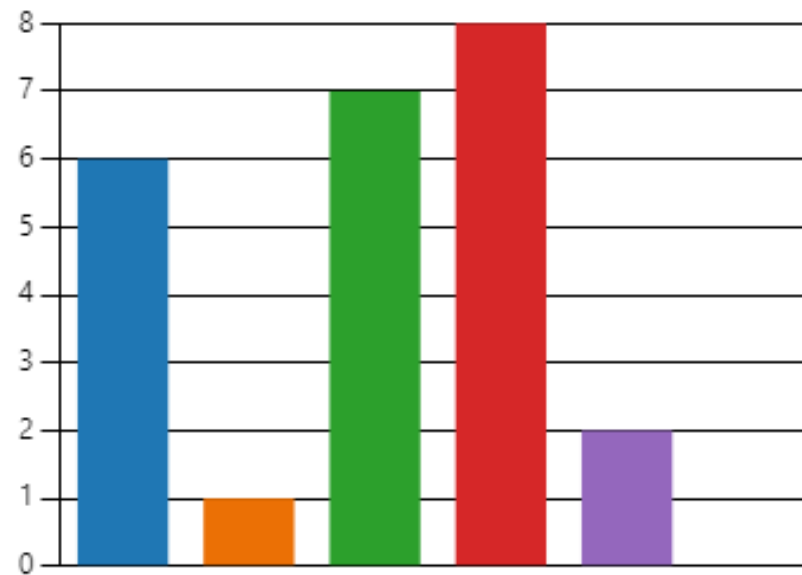
アンケート結果

令和6年度 中学部自立活動に関するアンケート
(office.com)

1. 自立活動で一番難しいと感じる場所はどれですか？

[詳細](#)

● 自立活動について知識が浅いと感じる	6
● 正確な実態把握	1
● 目標の設定	7
● 指導方法・場面	8
● 目標の文章（書き方・言い回しなど...）	2
● その他	0



学校生活全般での指導

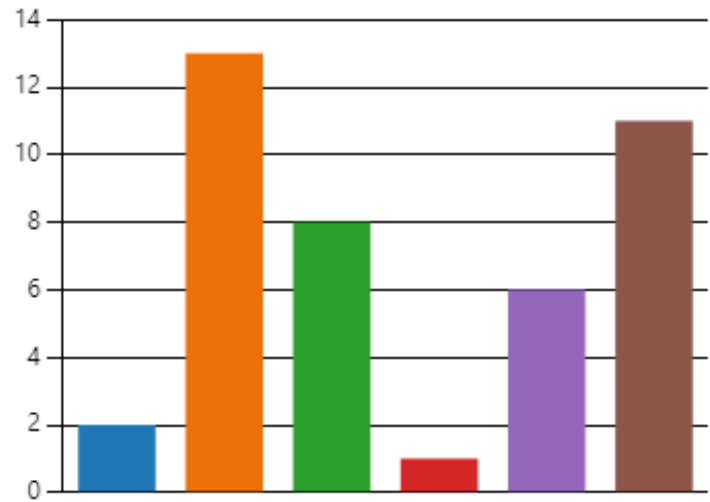


自立活動の視点が
必要

2. 担任の先生に質問です。担当学級の自活の目標の区分をお答えください。※複数回答可

[詳細](#)

● 健康の保持	2
● 心理的な安定	13
● 人間関係の形成	8
● 環境の把握	1
● 身体の動き	6
● コミュニケーション	11

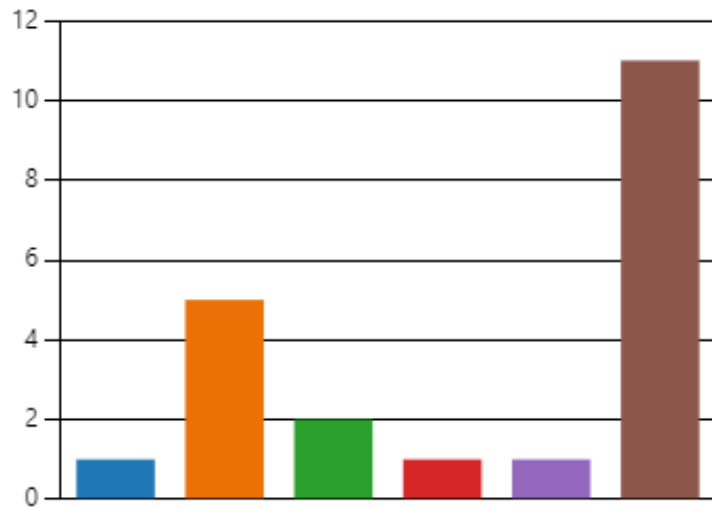


3. 6 区分の内、立てることの多い目標はどれですか。一つお答えください。

[詳細](#)

インサイト

● 健康の保持	1
● 心理的な安定	5
● 人間関係の形成	2
● 環境の把握	1
● 身体の動き	1
● コミュニケーション	11



思春期：気持ちの不安定

指導場面：学校生活全般

4. 自立活動をどの時間で指導することが多いですか。（例 日生、作業学習の報告場面、学級の授業 など、教科名も入れられたらお願いします）

15回答者 (75%) この質問に 日生回答しました。



5. 何か困っていること・聞きたいことがありましたらご記入ください。



○目標

- ・適切か分からない
- ・日常生活の指導との違いが難しい

○その他

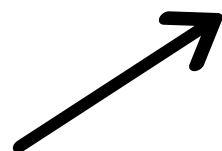
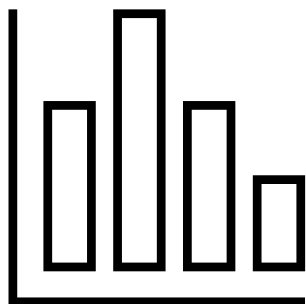
- ・目標の例を知りたい
- ・知識が浅い

知識に対するもの

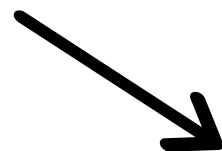
○指導場面

- ・特設がない
- ・個別で指導したくても時間がない

学校生活全般での
指導



知識を深める

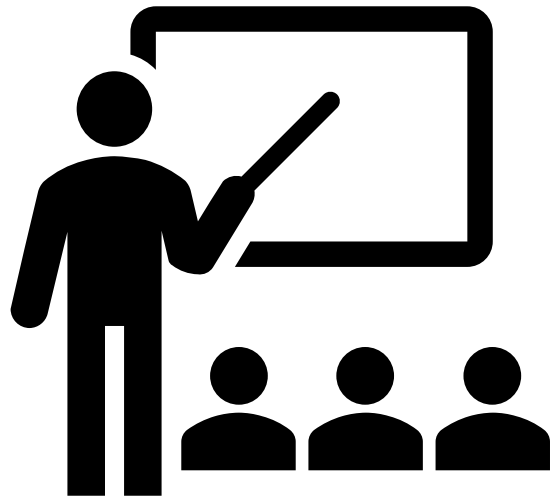


視点を増やす



(2) 今年度の取組

② 自立活動についての研修



知識を深める



	月			火			水			木			金		
8:50															
9:00															
9:10	日常生活の指導														
9:20	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
9:30	国語・ 数学	国語・ 数学	国語・ 数学	音楽	国語・ 数学	国語・ 数学	作業学習			国語・ 数学	音楽	国語・ 数学	作業学習		
9:40															
9:50															
10:00															
10:10															
10:20	保健体育	保健体育	保健体育	職業・ 家庭	音楽	職業・ 家庭				音楽	国語・ 数学	保健体育			
10:30															
10:40															
10:50															
11:00															
11:10							作業学習						作業学習		
11:20															
11:30	生活単 元学習	生活単 元学習	生活単 元学習	保健体育	保健体育	保健体育				保健体育	職業・ 家庭	音楽			
11:40															
11:50															
12:00															
12:10	日常生活の指導														
12:20															
12:30	給食														
12:40															
12:50	日常生活の指導														
13:00															
13:10	総合的な 学習の時間			生活単 元学習	生活単 元学習	生活単 元学習	国語・ 数学	生活単 元学習	生活単 元学習	生活単 元学習	保健体育	生活単 元学習	生活単 元学習	生活単 元学習	音楽
13:20															
13:30															
13:40															
13:50															
14:00	生活単元学習														
14:10															
14:20	日常生活の指導														
14:30															

中学部 日課表（通常）

◆中学部（通常）は、時間割に
「自立活動」がない！！

いつやるのか？

学校生活全般で

（学校生活全般に関わる

あらゆる内容が含まれる）

* 「自立活動」を設定しているのは、
小学部の通常の学級と小・中・高の重複障害学級

① 「一人一人の実態に合わせたオーダーメイド」

＊的確な実態把握に基づいた 指導目標・内容・場面の設定が重要

↑各教科のように、目標が定められていないため大切！

（6区分で捉えて整理（実態表の活用））

大切な視点 “うまくいっている状況”

“つまづいている中でも うまくいっている状況”

↑できる・できない以外の視点をもつ（教師の役割）

「今できていることは？（今もっている力を使う という視点）」

「できないことに注目し過ぎていないか（できないことをできるようにだけで良いのか）」

「生徒の良さを見る」「どんな支援があれば、どんな状況だとできるのか」

② 「**学校生活全般**に関わる指導目標・手立てを考える」

＊国数、作業学習などいろいろな教科等に当てはまるように

→限定した活動内容を目標にするのではなく、**何を身に付けさせたいか**

一年間もしくは前期、後期の期間で達成できる目標に（幅広く し過ぎない）

日々の学校生活の中でできること

＊6区分のどこにあてはまるか（一つとは限らない）を判断

日生との区別を明確に（表現の仕方になってしまいますが・・・）

例）身辺処理に関すること → 健康の保持、身体の動き、環境の把握

挨拶や姿勢 → 人間関係の形成、心理的な安定、身体の動き、コミュニケーション

自活（**それぞれの自立のためという視点**）：習慣付け（環境の形成）、動作（動き）

日生：やり方、手順

③ 「生徒が**主体的**に取り組めるよう工夫する」

＊教師が一方的に指導するのはNG. (教師側の満足になりがち)

→ **生徒自身が**「できるようになりたい」「頑張りたい」と**思えることを育てる**
(それぞれの自立に向けて**主体的に改善・克服**)



自立のかたちはそれぞれちがう

できることは自分で、できないことは周りの人に働きかけられる（関われる）ように
社会で生きていくために

＊得意なこと、好きなことを生かす（興味関心、意欲を引き出す）

＊今できていることを伸ばす（今の力を最大限に！）

「結果だけでなく、過程も大切に」

「わかりやすい（明確な）目標になっているか」 「自ら、自己選択・決定」

「自分で気付いて行動できるように（友達の様子を見て／教師が手本になって／待つ）」

(2) 今年度の取組

③ 目標一覧表の作成

視点を増やす



1回目

- ・作業班
- ・個別の「実態表」
- ・目標、手立て、指導場面

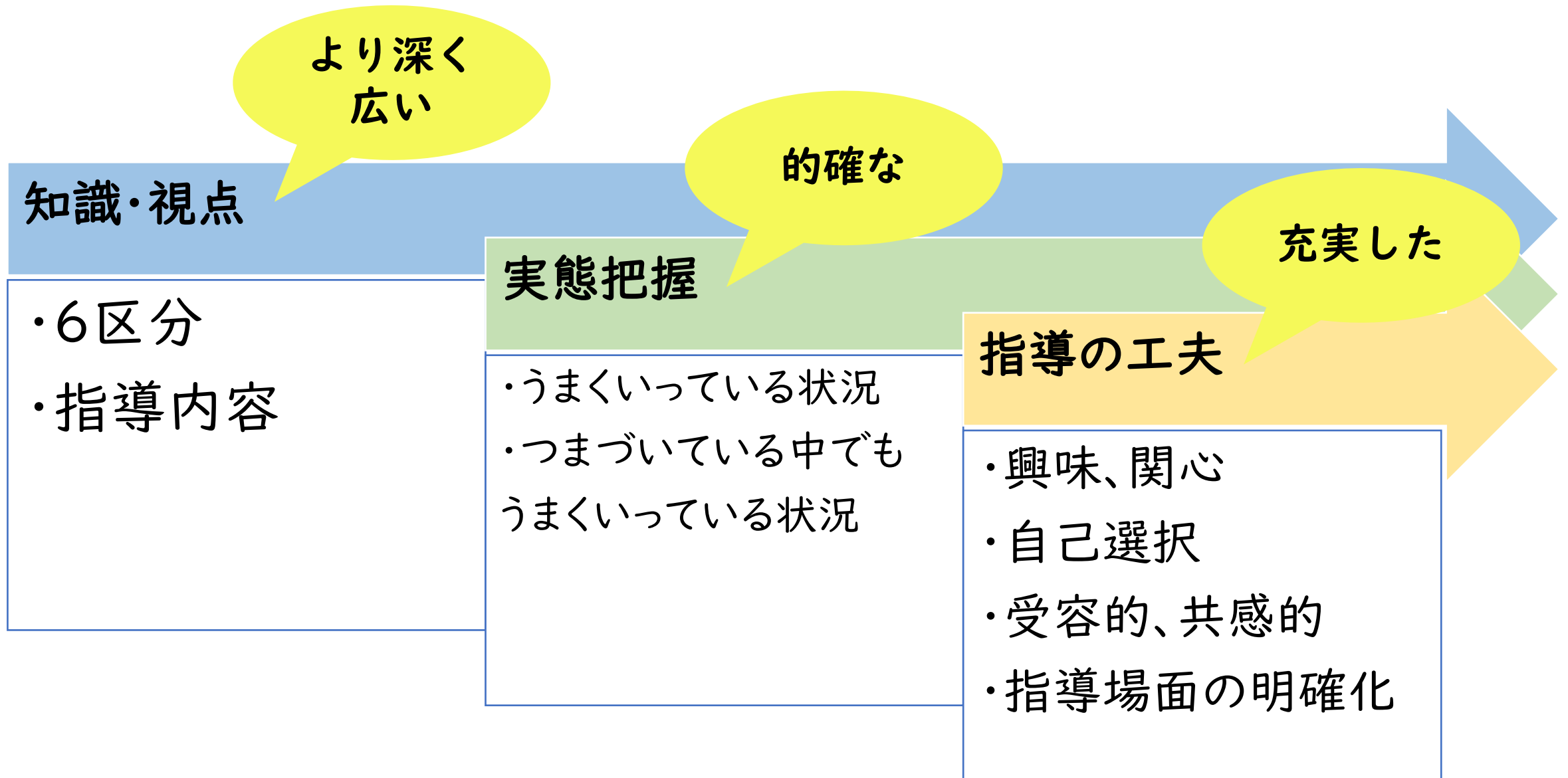


2回目

- ・1～3年縦割りグループ
- ・1回目に作成した表の検討
- ・各項目で目標を追加

項目	目標例	手立て	指導場面
健康の保持	・トイレに行く回数を増やすことができる。	・教師や友達と行く機会を設定したり、回数を決めたりする。	日生
	・手洗いをして清潔を保つことができる。	・日課表で手洗いのタイミングを確認する。必要に応じて言葉掛けする。	日生
	・よだれの始末をすることで、健康への意識を高めることができる。	・ハンカチを持ち歩いたり、マスクをしたりするよう言葉掛けする。	日生
	・ハンカチやタオルを必ず身に付け、汗の処理に活用できる。	・適宜言葉掛けをすることで、意識して汗を拭くことができるようにする。	日生
	・気温に合わせて衣服の調節ができる。	・気温計やその対応する衣服の表を提示する。	日生
	・適切に水分をとることができる。	・水分補給の場面を設定し、慣れてきたら自分からとれるようにする。	日生
	・決まった時間に服薬することができる。	・服薬の時間を掲示し、自分で確認できるようにする。	日生
	・継続して運動に取り組むことができる。	・近くで励ましたり、取り組んでいることを称賛したりする。	日生
	・ハンカチとティッシュの使い分けができる。	・場面でその都度確認する。	日生、作業
	・食べられる食品を増やすことができる。	・一口大から始め、徐々に量を増やしていく。併せて、栄養の学習をし、健康の大切さの理解を促す。	日生
	・正しく手洗いをし、衛生に気を付けることができる。	・手洗いの手順表を掲示する。また、手の汚れを視覚化したり健康への影響を学習したりする。	日生

(3) 研究の成果



<職員アンケート>

- 1 研修や研究日（グループで話し合い）を通して理解を深めることができましたか。



- 2 自立活動の目標一覧を活用したいですか。



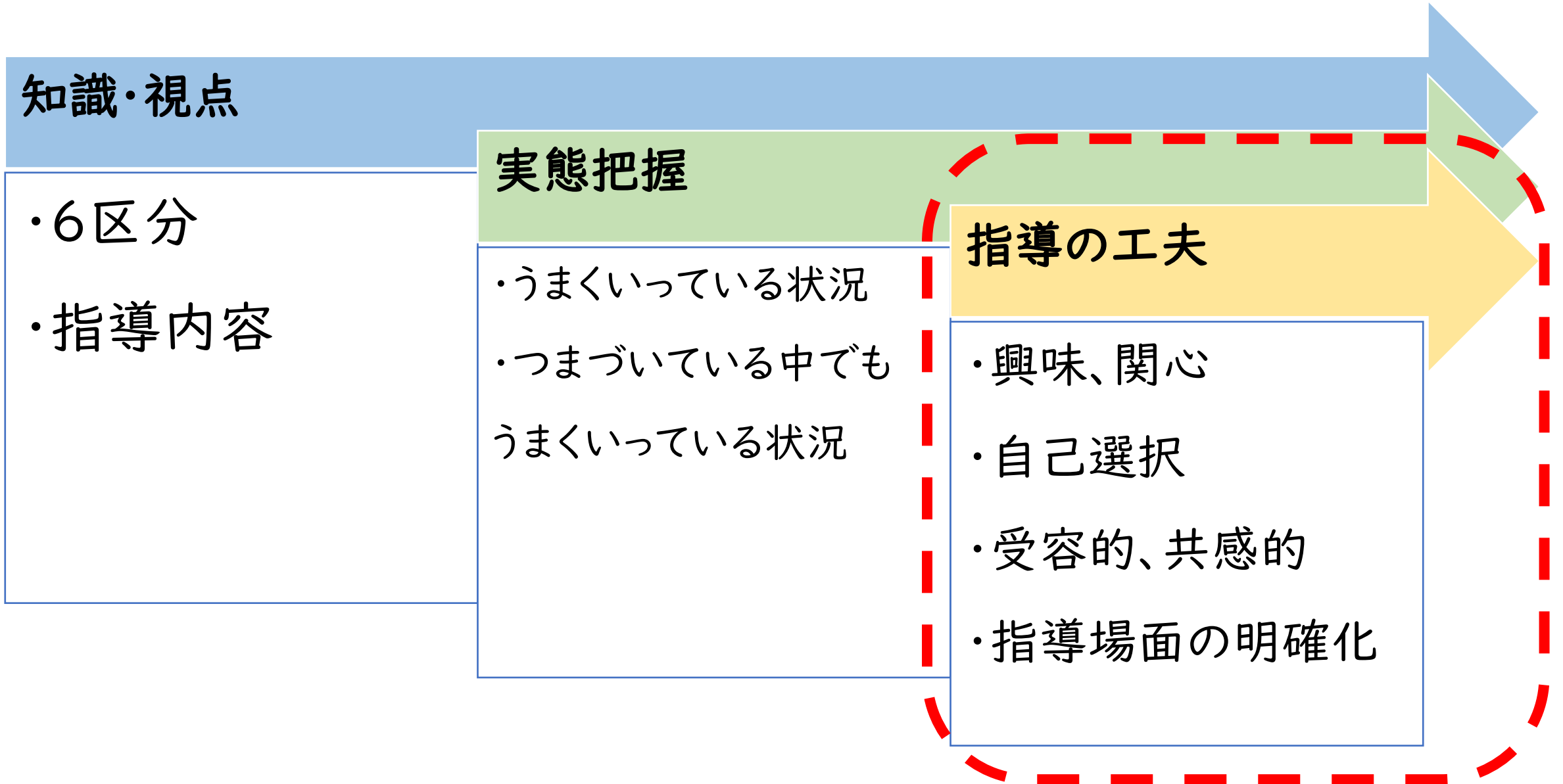
3 より深めたい項目を選択してください。



4 自由記述

- ・ グループで話し合って目標を考える活動が勉強になった。
- ・ 毎回、学びがあった。
- ・ 目標一覧を強く使いたいと感じた。

(5) 今後の課題・次年度の予定



(5) 今後の課題・次年度の予定

- ・ 目標一覧表の改善・実践
- ・ 指導の実践

目標一覧表を参考に自立活動の目標を考える



実践（各学年１名）



指導内容表の改善

- ① 興味関心に基づいた教材教具の工夫
- ② 自己選択や気持ちを表出する場の設定
- ③ 受容的・共感的な関わり



今年度の研究報告

高等部

研究主題B

学校課題

「各教科において身に付いた資質・能力の定着を目指した生活単元学習の効果的な指導と評価の在り方」

内容

- 1 毎時間の具体的なめあてと関連した教科の内容の検討
- 2 めあてに対する具体的な評価項目の検討
- 3 上記1, 2の整理
- 4 授業を実践して
- 5 生徒の変容
- 6 次年度の研究の方向

1 毎時間の具体的なめあてと関連する教科の内容の検討

①単元題材指導計画の「指導内容」に書かれた各題材のめあてを設定した。

- ・「何が(を)」「どのように」「どれくらい」の3点を明記することが望ましいが、「どれくらい(程度)」は題材によっては入れることが難しいので、「何が(を)」「どのように」は必ず入れるようにした。
- ・分かりやすい言葉を使う。
- ・文末は「～しよう。」または「～する。」の表記に統一した。

②めあてに関連する主となる教科を記入した。

・あくまでも「主となる教科」を 記入（文字を書くから「国語」、数字を書くから「数学」のようにかする程度の教科は入れない。）

③教科の内容を記入した。

・学習指導要領の教科の内容を抜粋

1年生：「校外学習」の一例

指導内容①	日程及び活動内容の確認・しおり作り
めあて	① パワーポイント教材を使った説明を聞いて、校外学習の日程や活動内容を知ろう。 ② しおりを作って、日程や活動内容を確認しよう。
教科等名	国・社・数
教科の内容	(国語) ・話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えること ・相手や目的を意識して、書くことを決め、伝えたいことを明確にすること (社会) ・社会生活を営む上で、大切な決まりがあることを理解すること (数学) ・大きな数の大きさの比べ方や表し方を統合的にとらえるとともに、それらを日常生活に生かすこと

2年生：「校外宿泊学習」の一例

指導内容③	見学場所について（県庁、県警本部、博物館）
めあて	（警察本部） ①タブレットを使って、警察や仕事や役割について調べよう。 （県庁） ①タブレットを使って、県庁のことや仕事について調べよう。 （博物館） ①タブレットを使って、博物館の展示物について調べよう。
教科等名	社会、職業
教科の内容	＜社会＞・社会生活を営む上で大切な法やきまりがあることを理解すること【知・技】 ・生活に関係の深い公共施設や公共物の役割とその必要性を理解すること【知・技】 ・生活に関係の深い公共施設や公共物の利用の仕方を調べ、適切な活用を考え、表現すること【思・判・表】 ＜職業＞・情報セキュリティ及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方が分かり、捉えること【知・技】

3年生：「修学旅行」の一例

指導内容③	公共施設・交通機関の利用について
めあて	①利用する公共施設や交通機関を想像しながら決まりについて知ろう ②ホテルでの過ごし方について話を聞き、快適な過ごし方を考えよう
教科等名	社会、家庭
教科の内容	(社会) ・社会生活を営む上で大切な法やきまりがあることを理解すること (家庭) ・健康管理や余暇の有効な過ごし方について理解し、実践すること

2 めあてに対する具体的な振り返り項目（評価の観点）の検討

例えば「話を聞いて、いつ、どこへ行くのか、何をするのかを知ろう」というめあてに対し、「話を聞いて、いつ、どこへ行くのか、何をするのかがわかった」というように、めあての最後を「～わかった」にするのではなく、生徒のどのような様子から「話を聞いて、いつ、どこへ行くのか、何をするのかを知ったと評価するのか」具体的な言葉で記入した。

1年生：「校外学習」の一例

指導内容	めあて	振り返り
日程及び活動内容の確認・しおり作り	①パワーポイント教材を使った説明を聞いて、校外学習の日程や活動内容を知ろう。 ②日程や活動内容をしおりに書き込もう。	A 「いつ（どこに）行きますか」「何をしますか」の質問に言葉で答えたり、イラストや写真を指さして答えたりすることができたか。 B 説明を聞いて、日程や活動内容などに関するイラストや写真に注目することができたか。 A パワーポイント教材を使った説明を聞いて、日付や場所など、必要な事柄をしおりに記入することができたか。 B 事柄を教師と確認しながら、なぞり書きや平仮名シールを貼るなどして、しおりを作ることができたか。

2年生：「校外宿泊学習」の一例

指導内容	めあて	振り返り
見学場所について (県庁、県警本部、 博物館)	(警察本部) ①タブレットを使って、警察 のや仕事や役割について調べ よう。 (県庁) ①タブレットを使って、県庁 のことや仕事について調べよ う。 (博物館) ①タブレットを使って、博物 館の展示物について調べよう。	A 県庁や栃木県警本部、博物館の サイトを見ながら、ワークシート の設問に答えることができたか。 B 教師の発問を受けて、県庁や県 警本部、博物館のサイトの写真や イラストを指差しなどで選ぶこと ができたか。

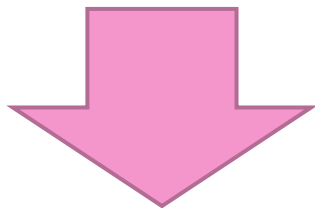
3年生：「修学旅行」の一例

指導内容	めあて	振り返り
日程及び活動内容の確認 公共施設・交通機関の利用について・しおり作り	①利用する公共施設や交通機関を想像しながら、きまりについて知ろう。 ②ホテルでの過ごし方について話を聞き、快適な過ごし方を考えよう。	A 「どんな決まりがありますか。」の質問に答えることができたか。 B 2つのイラストの中から、正しい決まりを選ぶことができたか。 A 「ホテルでどのように過ごしますか。」の質問に答えることができたか。 B 写真やイラストの中から、ホテルでの適切な過ごし方を指さしたり、うなずいたりして選ぶことができたか。

3 上記1, 2の整理

①単元題材指導計画に、めあて、めあてに関連する教科名、教科の内容、評価の観点を入れた。

- ・「指導内容」の欄・・・めあて、評価の観点
- ・「教科等名」の欄・・・めあてに関連する教科名
- ・「指導上の留意点」の欄・・・教科の内容



1年生：「校外学習」単元題材指導計画の一部

指導内容	教科等名	指導上の留意点	使用教材
1 導入（2時間） <めあて> ① パワーポイント教材を使った説明を聞いて、校外学習の日程や活動内容を知ろう。 ② しおりを作って、日程や活動内容を確認しよう。 <評価の観点> A： ① 「いつ（どこに）行きますか」「何をしますか」の質問に言葉で答えることができたか。 ② パワーポイント教材を使った説明を聞いて、日付や場所など、必要な事柄をしおりに記入することができたか。 B： ① 説明を聞いて、日程や活動内容などに関するイラストや写真に注目したり、質問にイラストや写真を指さして答えたりすることができたか。 ② 事柄を教師と確認しながら、なぞり書きや平仮名シールを貼るなどして、しおりを作ることができたか。	国語 社会 数学	<国語> ・話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えること【思・判・表】 ・相手や目的を意識して書くことを決め、伝えたいことを明確にすること【学】 <社会> ・社会生活を営む上で、大切な決まりがあることを理解すること【知・技】 <数学> ・大きな数の大きさの比べ方や表し方を統合的にとらえるとともに、それらを日常生活に生かすこと【思・判・表】 ・日時、行き先、マナーなどについて、時系列で説明したり写真や動画を用いたりすることで分かりやすいようにする。実態に応じて、必要なことをしおりに書くよう言葉掛けしたり、なぞりやシールの貼り付けなど支援したりする。	・タブレット端末 ・電子黒板 ・パワーポイント ・しおり

2年生：「校外宿泊学習」単元題材指導計画の一部

指導内容	教科等名	指導上の留意点	使用教材
3 見学場所について（県庁、県警本部、博物館） 3 時間 ＜めあて＞ （警察本部） ①タブレットを使って、警察の仕事や役割について調べよう。 （県庁） ①タブレットを使って、県庁のことや仕事について調べよう。 （博物館） ①タブレットを使って、博物館の展示物について調べよう。 ＜評価の観点＞ A 県庁や栃木県警本部、博物館のサイトを見ながら、ワークシートの設問に答えることができたか。 B 教師の発問を受けて、県庁や県警本部、博物館のサイトの写真やイラストを指差しなどで選ぶことができたか。	社会 職業	＜社会＞・社会生活を営む上で大切な法やきまりがあることを理解すること 【知・技】 ・生活に関係の深い公共施設や公共物の役割とその必要性を理解すること 【知・技】 ・生活に関係の深い公共施設や公共物の利用の仕方を調べ、適切な活用を考え、表現すること【思・判・表】 ＜職業＞・情報セキュリティ及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方が分かり、捉えること【知・技】 ・検索するワードやサイトを指定し、用意したワークシートに書き込めるようにする。 ・見学する公共施設は、様々な機能を有しており、社会生活をより快適に営むのに必要なものであることを理解できるようにイラストや写真、図などを効果的に使用して説明する。	・タブレット端末 ・筆記具 ・ワークシート

3年生：「修学旅行」単元題材指導計画の一部

指導内容	教科等名	指導上の留意点	使用教材
4. 公共施設や交通機関の正しい利用の仕方について（4時間） ＜めあて＞ ①利用する公共施設や交通機関を想像しながら、きまりについて知ろう ②ホテルでの過ごし方について話を聞き、快適な過ごし方を考えよう ＜評価の観点＞ A ①「どんな決まりがありますか。」の質問に答えることができたか。 ②「ホテルでどのように過ごしますか。」の質問に答えることができたか。 B ①2つのイラストの中から、正しい決まりを選ぶことができたか。 ②写真やイラストの中から、ホテルでの適切な過ごし方を指さしたり、うなずいたりして選ぶことができたか。	社会 家庭	＜社会＞ ・社会生活を営む上で大切な法やきまりがあることを理解すること。 【知・技】 ＜家庭＞ ・健康管理や余暇の有効な過ごし方について理解し、実践すること。 【知・技】 ・前年度の校外宿泊学習での活動を振り返りながら、説明や確認を行う。	タブレット端末 電子黒板 しおり

4 授業を実践して (1年生)

①めあてを設定したことについて

- 何を学ばせるのか明確になり、評価もしやすい。めあてを身に付けられるような授業にしようと教師も意識できる。
- めあてがあったことで生徒も何を学ぶのか分かり、教師も重点を理解することができた。
- めあてを明確にしたことで、達成できるように個々の生徒への手立てが明確になったと思う。
- 指導の方向性がはっきりしていて、めあてを明確にすることでまとまりのある展開にすることができた。
- めあてが設定されていることで、複数の教員が同じ指導の方向性で授業を展開することができた。

②めあてに関連した教科とその内容を明記したことについて

- 各教科との関連を意識して授業をすることができた。
- どの教科のどの分野なのか分かることで、教科横断的な指導がしやすい。
- 指導する方向性がはっきりしていて、授業の見通しがもちやすい。

③振り返り項目（評価の観点）を設定したことについて

- 自己評価がしやすかった。
- 客観的な評価につながったと思った。
- 設定したことで授業の組み立てがしやすかった。
- 生徒の理解度をはかる上で、一つの基準となり評価がしやすかった。

4 授業を実践して (2年生)

①めあてを設定したことについて

- ・めあてを決めたことで、該当時間に「何を学ばせるのか」がはっきりと分かり、ぶれずに授業を展開することができた。
- ・着地点が決まっているので、該当時間の授業が組み立てやすかった。

②めあてに関連した教科とその内容を明記したことについて

- ・関連した教科のその内容をはっきりさせることで、「この教材を使ってこういうことを学習させる」という意識をもって授業を行うことができた。

③振り返り項目（評価の観点）を設定したことについて

- ・実際に指導してることと学習評価として生徒にフィードバックされることのずれがないようにできた。
- ・生徒の良い点や可能性、進歩の状況を積極的に評価することができた。また、生徒の様子から、授業の改善すべき点も見つけやすかった。

4 授業を実践して (3年生)

①めあてを設定したことについて

- ・ 修学旅行の単元はめあてがぼやけてしまいがちだったが（恒例行事である、思い出作りの側面が大きい、単元の実施時数が多いetc.）、具体的なめあてを設定することで毎時間の活動内容を整理した上で授業を行うことができた。

②めあてに関連した教科とその内容を明記したことについて

- ・ 教科の中でも特に生徒に学ばせたい点を意識するきっかけとなった。

5 生徒の変容 (1年生)

①めあてとやることを提示したことについて

- ・その時間に学ぶべきこと、目標が分かることで生徒自身見通しがもて、学習の意欲につながっていた。
- ・めあては一番知ってほしい内容でもあるので生徒も集中して話を聞いていた。
- ・生徒の質問等への反応が、めあてややることを中心に考えられていて全体的にまとまりのある授業につながっている。

②具体的な振り返りをしたことについて

- ・何が分かったか、マナーやきまりは何かを振り返ることができ、「楽しかった」というだけで終わらなかった。
- ・自分の理解したことを客観的に評価できたのではないか。
- ・インプットだけでなく、アウトプットすることで理解度が増していた。
- ・活動内容について、より深い意識付けにつながっている。

5 生徒の変容(2年生)

①めあてとやることを提示したことについて

- ・めあてを提示することで、「今日は〇〇をやるの？」などと明らかに**興味を示す**様子が見られた。
- ・やることの順番を提示したことで、**見通しをもって**落ち着いて取り組む様子が見られた。

②具体的な振り返りをしたことについて

- ・振り返り項目（評価の観点）を分かりやすい言葉で提示することで、生徒は**自分の達成したことや良かったことを積極的に評価**していた。

5 生徒の変容(3年生)

①めあてとやることを提示したことについて

- ・これまでもやっていたことなので、大きな変化は感じなかった。

②具体的な振り返りをしたことについて

- ・「できた」、「むずかしかった」等、**自分の理解度を把握**しやすかったのではないか。

6 次年度の研究の方向

生活単元学習における「理科」の内容の設定と具体的な指導計画の作成(案)

研究の手順

- ①教科等名に「理科」が含まれる単元を各学年各課程で三つ選ぶ。
- ②学習指導要領解説から内容を選ぶ。
- ③単元の中での理科的内容の学習について具体的な指導計画を立てる。
題材名、時数、めあて、指導内容、指導方法、留意点、評価の観点、教材など
- ④授業実践
- ⑤評価・改善

今年度の研究報告

小学部

【研究主題C】 小学部

学校課題

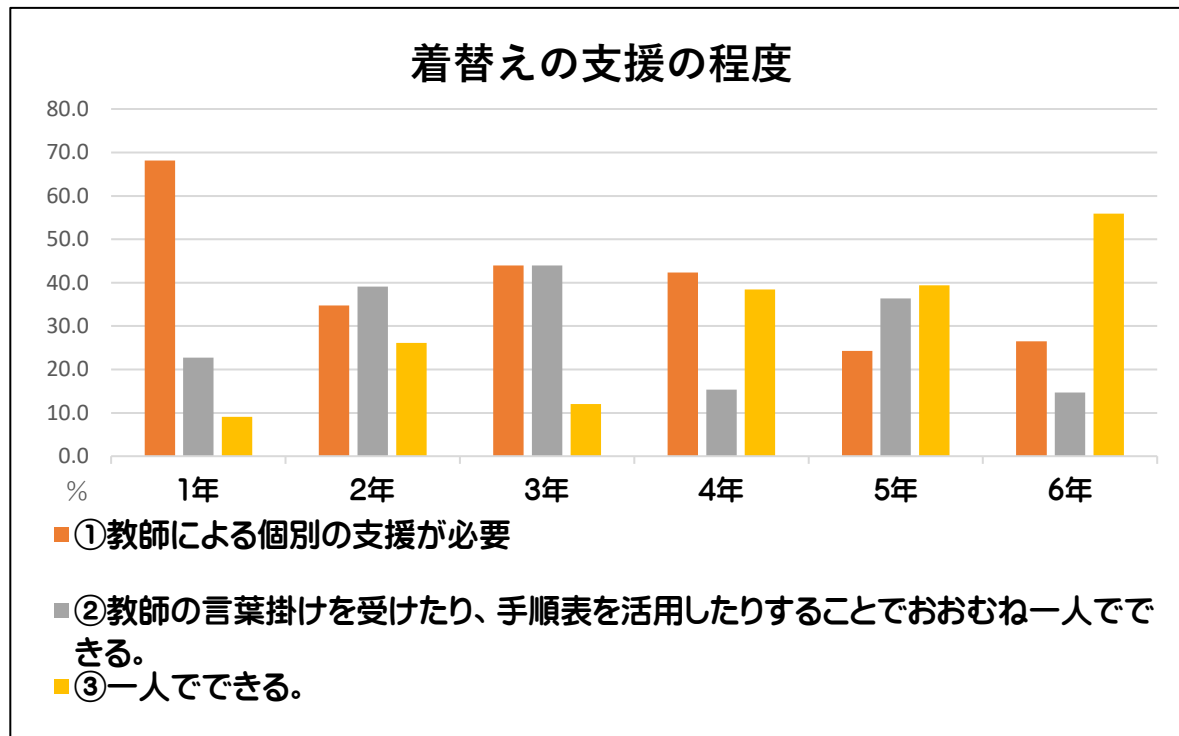
「社会的・職業的自立に向け、生きて働く力の育成を目指した指導内容と評価の工夫」

(1) 研究の主な内容

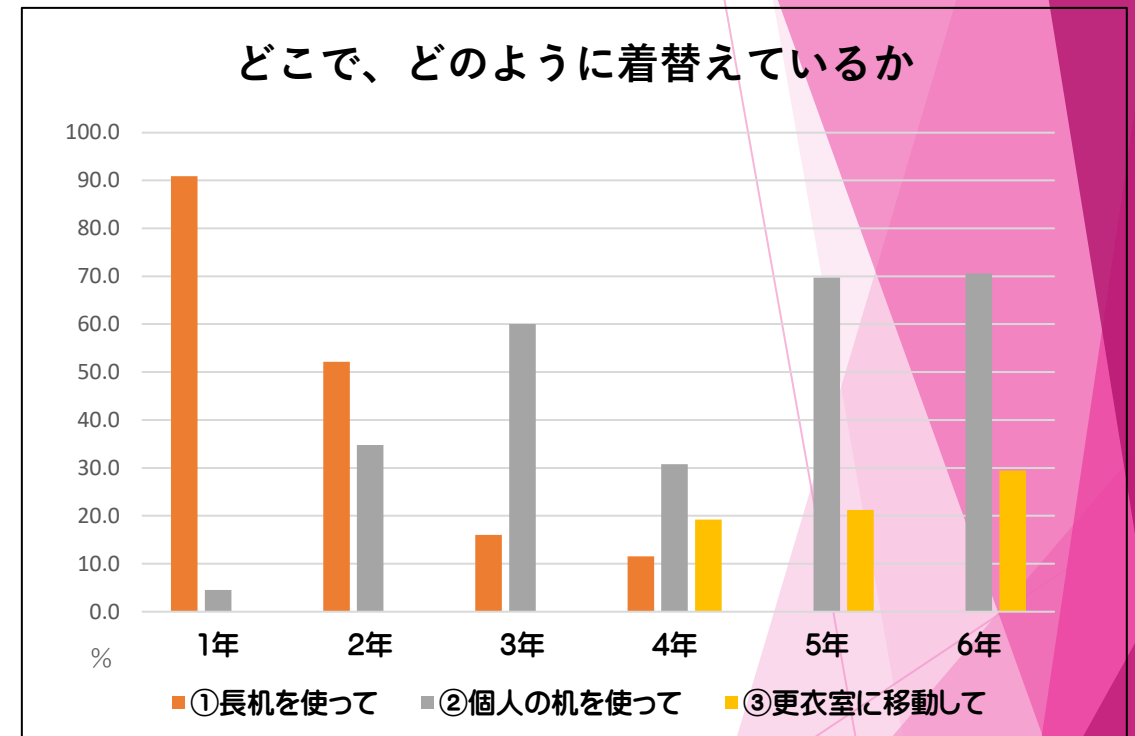
- ①着替えについて各学年の現状を確認
- ②基本の着替え手順表の作成に向けて内容の検討
- ③基本の着替え手順表をもとに各学年で実践
- ④実践をとおしての課題点や改善点の整理
- ⑤中学部進学に向けて、小学部段階で身に付けたいスキルの把握、取組みの検討

(2) 今年度の取り組み

①着替えについて各学年の現状を確認

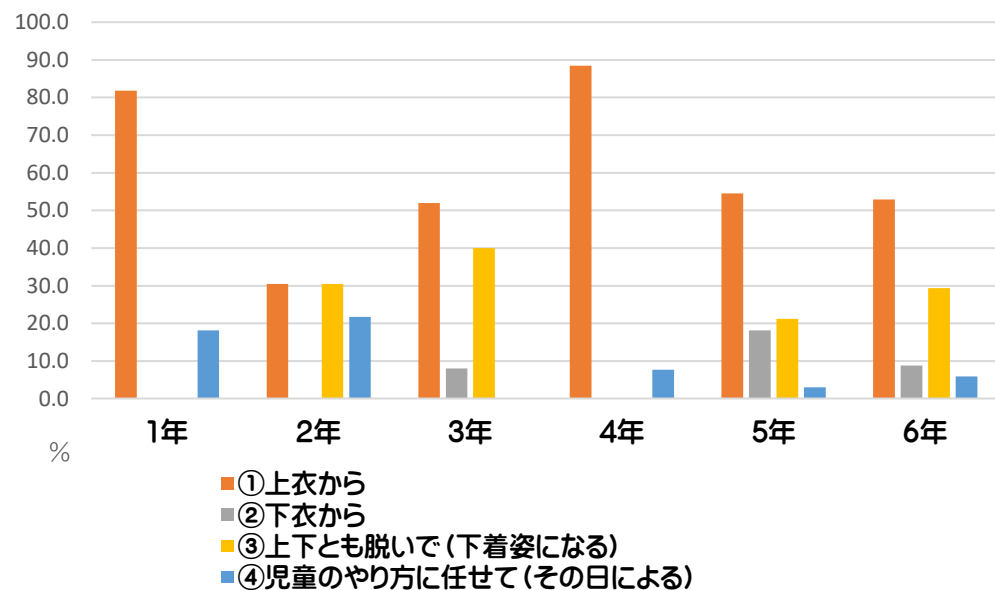


- ・低学年では特に教師による支援、手順表の活用など視覚的な支援を必要とする児童が多い傾向。
- ・学年が上がるにつれて、少ない支援、一人で着替えができる児童が増えてきている。



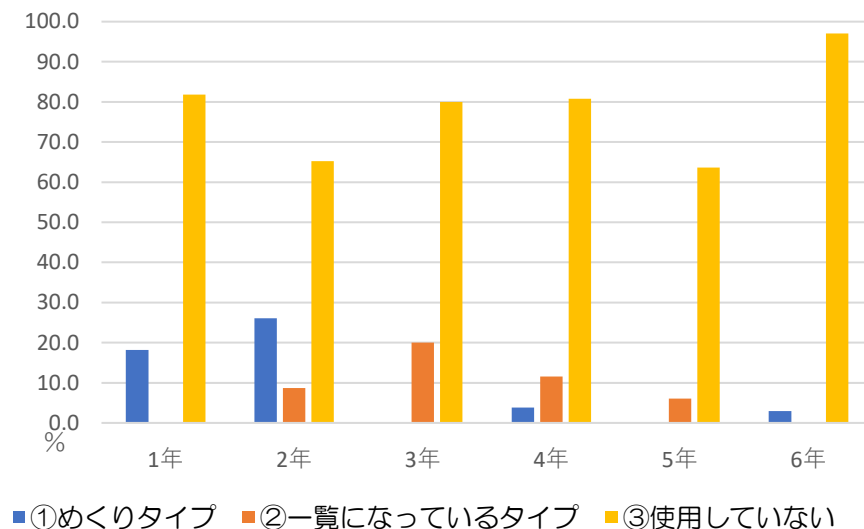
- ・主に1、2年生が長机など広いスペースを使って、教師と一緒に取り組んでいる。
- ・3年生以降は個人の机で着替える児童が多くなり、4年生からは更衣室の利用も始まる。

普段の着替えの手順



- ・ 上衣から着替えを始める学年が多かった。

使用している手順表



- ・ 全体を通して着替えの手順表を作成、活用している学年は少ない。
- ・ 低学年ではめくりタイプの使用がやや多い傾向。

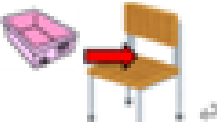
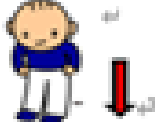
②基本の着替え手順表の作成に向けて内容の検討

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	上衣を脱ぐ	籠から体操着を出す	籠を持ってくる	上衣を脱ぐ	椅子に籠を置く	上を脱ぐ
2	上衣を着る	ハンカチを出す	椅子に置く	上衣を着る	服を出す	下を脱ぐ
3	ハンカチを出す	上着を脱ぐ	ハンカチを出す	下衣を脱ぐ	ハンカチ・ティッシュを出す	身だしなみを整える
4	上履きを脱ぐ	体操着を着る	上履きを脱ぐ	下衣をはく	上を脱ぐ→着る	
5	下衣を脱ぐ	上履きを脱ぐ	上を脱ぐ		下を脱ぐ→はく	
6	下衣を着る	ズボンを脱ぐ	体操着を着る		ハンカチを入れる	
7	ハンカチをポケットに入れる	体操着をはく	ズボンを脱ぐ		ジャージを着る	
8	上履きを履く	上履きを履く	体操着をはく		たたむ	
9	上衣をたたむ	服をたたむ	上履きを履く			
10	下衣をたたむ	服を籠に入れる	ハンカチを入れる			
11	かごにいれてロッカーへ		服をたたむ			
12			籠に入れる			

学年によって扱う項目や順序に多少の違いが見られるが、各学年から挙げられた意見をもとに共通の手順表を作成した。

【基本の着替え手順表（仮）】※全学年共通

〈表面〉

きがえ てじゆんひょう		
1		かごを もってきて いすに おく
2		うわばきを めぐ
3		はんかちを だす
4		うえを めぐ
5		たいそうぎを きる
6		ずばんを めぐ

〈裏面〉

7		たいそうぎを はく
8		うわばきを はく
9		はんかちを いれる
10		ふくを たたむ

- ・ A4両面刷り
- ・ この手順表をもとに、各学年・学級で必要な支援を加え、児童に合った手順表を作成、実践を行った。

③基本の着替え手順表をもとに各学年で実践

【実践紹介】

< 2 年生 >

< 1 年生 >



【実践をととしての児童の変容】

主体的

- ・次に何をすることが分かり、進んで取り組むようになった。
- ・自分から手順表をめくるようになった。

着替え技術の向上

- ・上下下着姿にならずに着替えができるようになった。



- ・言葉掛けより有効。
- ・着替えを促す言葉掛けがしやすくなった。

教師にとっても
メリットが◎



④実践をととしての課題点や改善点の整理

人手不足により、指導
の機会の確保が難しい

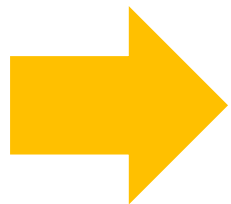
表のイラストの
脱ぐ・着る（履く）の
違いが分かりにくい



イラストを統一さ
せたほうがよい

項目が多い

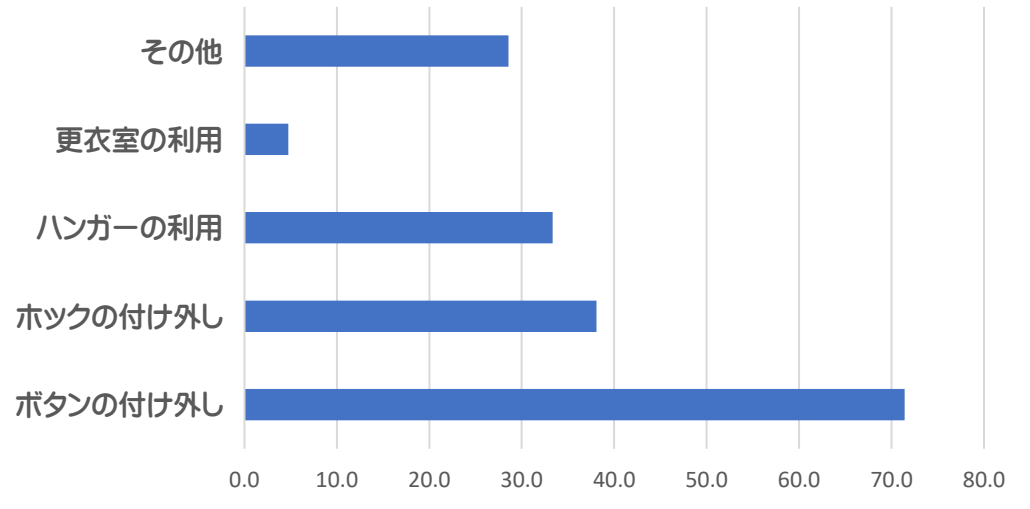
カスタマイズフォルダがほしい



可能な限り、次年度の着替え手順表に反映させる

⑤ 中学部進学に向けて、小学部段階で身に付けたいスキルの把握、取組みの検討

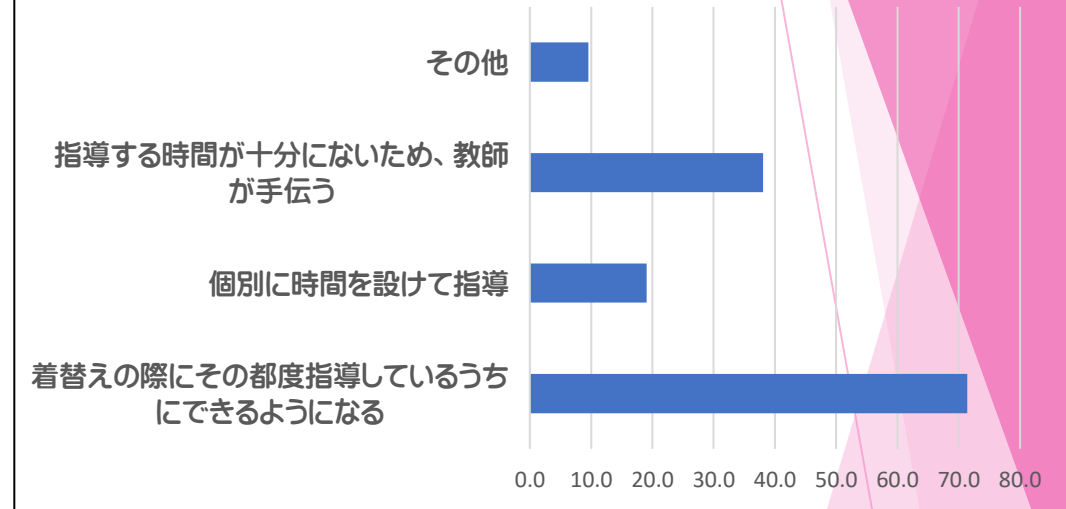
制服の着替えでつまずきやすい点



【その他】

- ・ネクタイやリボンの取り外し
- ・裾の始末
- ・机の上を整理しながら着替える
- ・襟を正しく折る

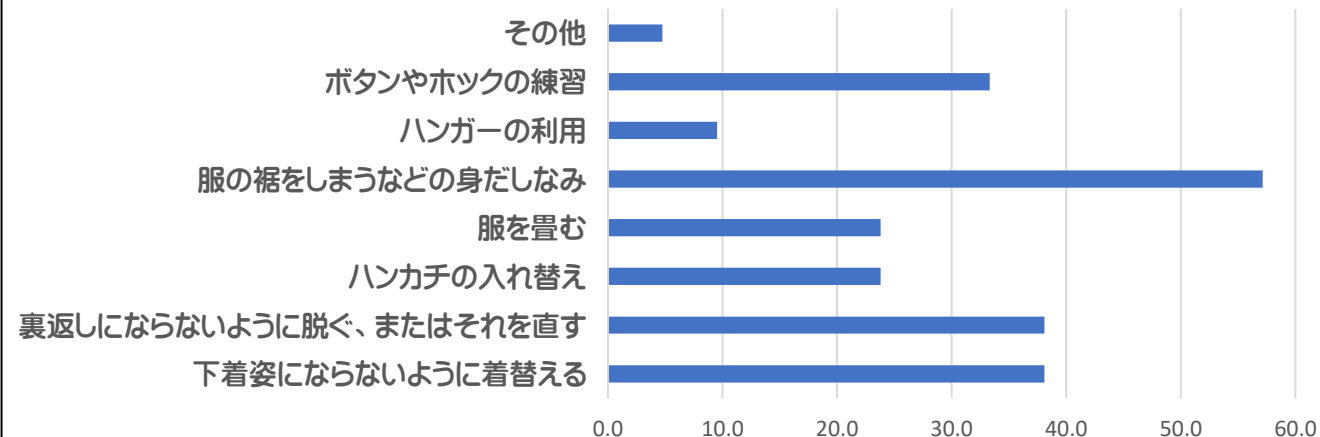
どのように対応、指導しているか



【その他】

- ・生徒の実態に応じて、「ここまでは頑張る、ここからは支援する」という線引きをしている

小学部段階で身に付けておいてほしいこと



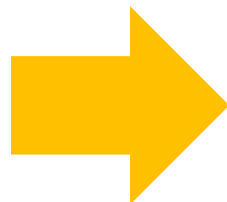
【その他】
時間を意識して着替える

このアンケート結果を小学部全体で共有し、小学部段階から取り組めそうなことを検討したり、中学部進学に向けて個別の指導目標の設定に役立てたりした。



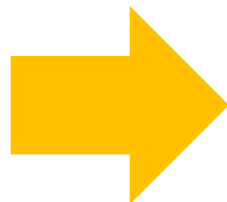
(3) 研究の成果

小学部全職員で着替え
の手順の共通理解



統一した指導

実態に合った手順表の
工夫・作成



児童の主体性、教師の支援の
しやすさ

中学部進学に向けて、
小学部段階で取り組む
べき課題の把握



見通しをもった指導



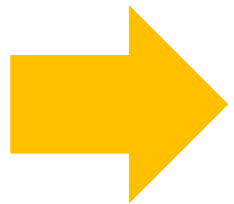
(4) 今後の課題

つづける

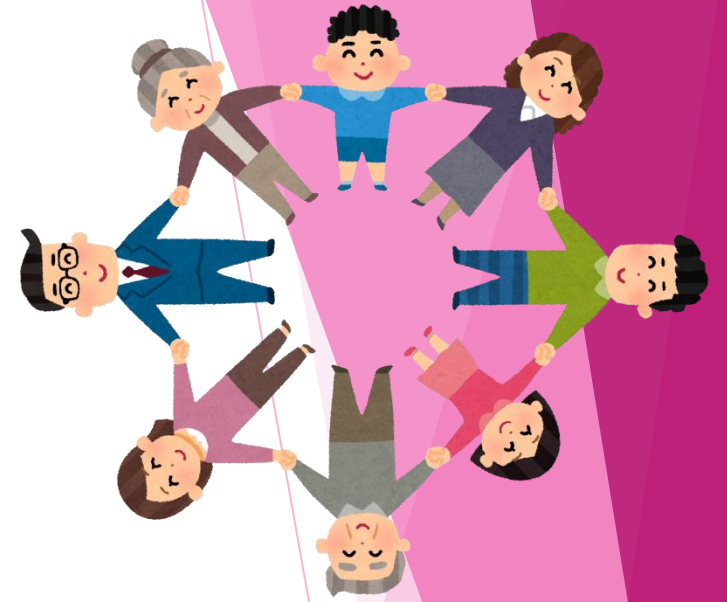
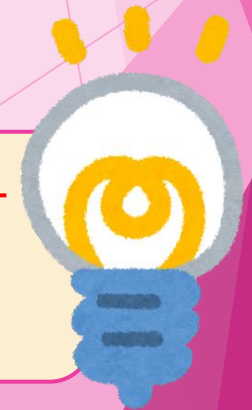
手順表を改良
実践を継続

つながる

HPを活用し、**家庭に発信**
教材の共有と実践の場を拡大



確実に引き継ぐための教材データの保存・共有の仕方
について検討・周知



研究のまとめ



～チーム富屋で大切にしたいこと～

すべての指導目標の基本となるのは

的確な実態把握



子ども一人一人の

良いところ

できること

興味・関心

に着目することを大切に!!

チーム富屋で目指す授業づくり



「わかる！」
学習内容・授業展開

【主体的な学び】

「やりたい！」
興味関心に基づく
教材教具

【意欲】

「できた！」
達成感がもてる評価

【自信】



新学習指導要領における

主体的な学び

対話的な学び

深い学び

これらを実現
させるために



小さな改善の積み重ね

教育課程は
適切？

各教科の時数は？

学習形態は？

学習内容は？

新しい単元が
必要？

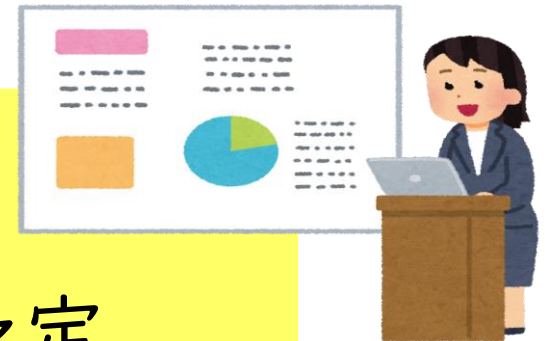


5 今後の研究について



各研究主題 → 継続実施
(2年計画の2年目)

*教育課程研究集会（令和7年8月）
各主題について、研究成果のまとめを発表予定



おわりに

チーム富屋で

子どもたちに笑顔を

自信

意欲

